

## 4. 極小未熟児の発達チェック簡易プロトコール

分担研究者 前 川 喜 平  
研究協力者 諸 岡 啓 一 松 石 豊次郎 宮 尾 益 知  
                  奈 良 隆 寛  
共同研究者 有 本 潔<sup>1)</sup> 高 木 一 江<sup>1)</sup>

我々は現在迄に極小未熟児発達チェックのためのプロトコールを2歳、3歳、就学前（6歳）、就学後について作成した。これはNICNの基本的情報のプロトコールと一般小児科学的診察、神経学的診察、微細神経学的徴候、心理テストなどにより構成されている。診察に30分、心理テスト（WPPSI、WISC-R）に1時間、合計1時間半を要するものである。これに対し、新生児関係者よりこのプロトコールは時間がかかり過ぎるので、心理テストを除いて15分位で出来るものはないのか要望が強くみられた。このために作成したのがここに掲載する簡易版である。各検査項目は従来のテストより取ったもので、通過率などすべて標準化されているものである。

### 1) 3歳児発達健診 記載用紙（簡易版）（案）

ID No.	施設名 カルテ番号	平成 年 月 日	平成 年 月 日
氏名	施行年月日 性（男、女）	生年月日 診察年月齢 （修正年月齢）	年 月 日 歳 カ月
在胎/出生体重 発達歴：定額 意味のある単語	週	日	月
主な入院：1. 2. 3.	歩行開始 昼夜のおむつがとれる		
診察日：（年 月 日）	歳 月 日	身長 cm（ $\mu$ -セグ係）	体重 Kg（ $\mu$ -セグ係）
身体計測 頭圍 cm（ $\mu$ -セグ係）	胸圍 cm		
小児科的診察所見： 頭 部 眼 部 胸 部 腹 部 皮 膚 その他			

### 3歳児発達健診 問診票

お名前	男、女	平成 年 月 日
問診票		
1. 歩き方や走り方がおかしいという心配がありますか。		【いいえ、はい、不明】
2. 階段を交互に昇りますか。		【はい、いいえ、不明】
3. 積み木などで、車や家を作ったりして遊びますか。		【はい、いいえ、不明】
4. 「ワンワン来た」のように二語文が話せますか。		【はい、いいえ、不明】
	はいと答えた方へ；いつごろからですか。	（ 歳 カ月頃）
5. 「どちらが大きいの？」と聞かれて大きい方を指差しますか。		【はい、いいえ、不明】
6. 他の子供に関心を示しますか。		【はい、いいえ、不明】
7. ごだわりや奇妙な癖がありますか。		【いいえ、はい、不明】
8. あちこち動いて、落ち着きがないと思いませんか。		【いいえ、はい、不明】
9. 不器用だと思いませんか。		【いいえ、はい、不明】
10. 目つきがおかしい、テレビを近くで見るなど、目が悪いのではないかという心配がありますか。		【いいえ、はい、不明】
11. テレビを近くで見る、音を大きくするなど、耳が悪いという心配がありますか。		【いいえ、はい、不明】
12. 一人で靴がはけますか。		【はい、いいえ、不明】
13. 食事やおやつの時間や回数を決っていますか。		【はい、いいえ、不明】
14. 歯や口の中のことで心配なことがありますか。		【いいえ、はい、不明】
15. 排泄（おしっこ、うんち）について困っていることがありますか。		【いいえ、はい、不明】
	【はい】の方へ：どのようなことかお書き下さい（	）
16. 熱性けいれんがありますか。		【いいえ、はい、不明】
17. 熱がなくてもけいれんがありますか。		【いいえ、はい、不明】
18. 3歳児健診は受けましたか。		【はい、いいえ、不明】
	受けた場合、何も問題ありませんでしたか。	【はい、いいえ、不明】
	【いいえ】（問題があった）の場合：	
	経過観察になりましたか。	【いいえ、はい、不明】
	【はい】の場合：	
19. 何か病気がありますか。		【はい、いいえ、不明】
	「はい」の場合（	）
20. 何か心配なことがありますか。		【はい、いいえ、不明】
	あればお書き下さい（	）

II 診察所見

正常は1) N, ごく軽度で境界程度の場合は2) Borderline, 異常は3) A, 判断困難, 無記入の場合は4) Uとする

A 行動, 反応

- 1. 名前/年齢を聞く 1) N 2) B 3) A 4) U
1) Normal: 姓・名の何れか, と年齢がわかる
2) Borderline: 姓・名の何れか, または年齢がわかる
3) Abnormal: 姓・名, 年齢の何れもわからない
2. 顔貌 1) N 2) B 3) A 4) U
無欲状, 周囲への無関心などの有無
3. 視線 1) N 2) B 3) A 4) U
1) Normal: (診察中に)目が合う。
2) Borderline: 目は少し合う。3) Abnormal: 目が合わない。
4. 注意集中 1) N 2) B 3) A 4) U
1) Normal: 正常
2) Borderline: 注意の対象がや、変りやすい
3) Abnormal: 注意の対象がすぐ変る
5. 落ち着き(多動なし) 1) N 2) B 3) A 4) U
1) Normal: 余り動き回らない
2) Borderline: 動きがや、多い
3) Abnormal: 絶えず動き回る
6. 診察に対する協調性 1) N 2) B 3) A 4) U
1) Normal: 胸部の聴診や腱反射などの診察に応じる(除口腔)。
2) Borderline: あまり協力しない 3) Abnormal: 全く協力しない

B 一般理学的診察

- 7. 体格(身長) 1) N 2) B 3) A 4) U
母子手帳で確認。1) Normal: >= 7歳-セツク 2) Borderline: 3~7歳-セツク
3) Abnormal: 身長<3歳-セツク, 増加の鈍化(勾配が正常曲線より小)
8. 頭囲 1) N 2) B 3) A 4) U
母子手帳で確認。1) Normal: >= 7歳-セツク
2) Borderline: 3~7歳-セツク 3) Abnormal: < 3歳-セツク
9. 胸部部, 他 1) N 2) B 3) A 4) U
喘鳴, 聴診上のstridor, rhonchiなど所見:

C 神経学的診察

- 10. 歩行 1) N 2) B 3) A 4) U
歩行のリズム, 安定度, 上肢の揺れなどをみる
2) Borderline: 上肢の揺れが乏しい, や、不安定な歩行。
3) Abnormal: 上肢をや、挙上して歩く, 不安定な歩行。
11. 四肢の姿勢(立位, 坐位="だっこ") 1) N 2) B 3) A 4) U
肘関節の異常伸屈/屈曲, 前腕内位/回外位, 手指(母指)内転, 反張様, 外反・扁平足, 尖足, など
12. 筋緊張 1) N 2) B 3) A 4) U
2), 3)の場合{5}低下, 6)亢進!
6)亢進の場合{7}痙直性, 8)強剛性)
肘関節, 膝関節, 足関節を屈曲/伸屈して抵抗感を診る
軟らかい時や外反・扁平足が見られる場合は5)筋緊張低下,
固い時は6)亢進とする
屈曲または伸屈の一方方向の抵抗が折られたみ現象がみられる場合は7)痙直性,
屈曲と伸屈で同じ程度の抵抗がある場合は8)強剛性とする
13. 腱反射 1) N 2) B 3) A 4) U
膝蓋腱反射, アキレス腱反射が明らかな亢進または左右差を示す時は異常,
軽度亢進の場合は境界とする
14. 腱位(斜視なし) 1) N 2) B 3) A 4) U
ペンライト法にて, 瞳孔の中央に反射光が見られるか否か
15. 眼球運動 1) N 2) B 3) A 4) U
ペンライトを緩徐に水平/垂直に追視させる

D 神経学的微細徴候, 認知, 言語

- 施行時の機嫌: 1) N(良好), 2) B(境界), 3) A(不良), 4) U(不明)
2) B(境界), 3) A(不良)の場合の理由:
(脱力, 空想, 普段も協力不良, )
16. 積み木6個を積み 1) N 2) B 3) A 4) U
積み木6個を与えて積ませる。手本を示す。2回までに出来れば1) Normal
不確実な時は2) Borderline. 出来なければ3) Abnormal
この時手指の使い方も見る。
17. 「5, 8」, 「6, 2」, 「3, 9」といって, 復唱させる。
1) N 2) B 3) A 4) U
それぞれ1つずつ行なう。3つのうち2つ出来ればよい。
1) Normal: 2-3つ出来る 2) Borderline: 2つ出来るが不確実
3) Abnormal: 1つ以下
18. 丸の大小が分かる 1) N 2) B 3) A 4) U
直径6cmと4cmの丸の絵カードをみせて, 「大きい丸はどっち?」,
「小さい丸はどっち?」と聞く。
1) Normal: 正解 2) Borderline: 不確実 3) Abnormal: 誤り

III 発達検査

Table with columns: 可能であれば行う (施行/施行), 年月日, 歳, カ月. Includes subtests like 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法, 対人関係, 発語, 言語理解, and 認知IQ, 言語IQ.

- 3 -

IV けいれん

- 問診による。
1) なし あり {2} 熱性けいれん 3) てんかん 4) その他
5) 不明・判定不能
2) 熱性けいれんの場合(38℃以上) {6} 単純型, 7) 複合型
服薬 8) なし, 9) 間欠投与(7歳以下), 10) 持続投与
次の症候のうち1つ以上あれば複合型とする:
神経症状あり(脳性麻痺, 精神遅滯, 自閉症), けいれん左右差あり,
持続15分以上, 1日2回以上
3) てんかんの場合
a) 部分発作
11) 単純部分発作(意識清明, 体の一部分の発作),
12) 複雑部分発作(意識混濁, 動作が止まる~体の一部分の発作),
13) 部分発作から始まり2次的に全般化する(強直・間代けいれん)発作
b) 全般発作
14) 強直・間代けいれん, 15) 欠伸発作, 16) ミオクローニーけいれん,
17) 非定型欠伸, 18) 點頭てんかん, 19) Lennox(-Gastaut) 症候群
c) 発作型に関して 20) 不明・判定不能
4) その他のけいれん様状態
21) 泣き入りひきつけ 22) 失神 23) その他( )

IV 診断:

各Axis毎に診断名を付ける
診察所見における各項目の異常{A}に基づいて診断する。
境界{B}は診断に際しては正常扱いとする
問診票における異常項目は参考とする。

Axis I 運動

問診票では 1. 歩き方, 2. 階段を登る, 3. 積み木, 7. 不器用, 10. 一人で靴をはく, を参考にする。
診察 10. 歩行, 16. 積み木, で判断する。

診断(○を付ける)

- 1. 正常: 上下肢の運動機能正常, CPの所見がみられない
2. 境界: 中枢神経系の機能の偏り, 下のイ, ロ, ハ)を満たす
イ) 運動機能の異常あり a), b)に○を付ける
a) 上肢(16), b) 下肢(10)
ロ) ⑩姿勢異常, ⑪筋緊張異常[5]低下]はみられない
(すなわち筋疾患, 末梢神経疾患の所見がない)
ハ) CPの所見{11}姿勢, 12)筋緊張異常[6]亢進, 13)腱反射6)亢進]がみられない。
3. CP: 下のイ, ロ)を満たす
イ) 運動機能の異常あり a), b)に○を付ける
a) 上肢(16), b) 下肢(10)
ロ) CPの所見{11}姿勢, 12)筋緊張異常[6]亢進, 13)腱反射6)亢進]がみられる。
CPでは, ①運動機能障害, ②筋緊張の異常(亢進は必ず必須, 一部の筋で低下)があり, 多くの場合, ③腱反射亢進, ④病的反射陽性を呈する
CPの型(下記に○)
a) 麻痺の性状
1) 痙直性{12}筋緊張-6)亢進-7)痙直性, 13)腱反射亢進}
2) 強剛性{12}筋緊張-6)亢進-8)強剛性}
3) アトニー, 4) 失調性, 5) 弛緩性
b) 麻痺の分布
6) 四肢麻痺(上肢/下肢の麻痺の程度がほぼ同じ),
7) 両麻痺(上肢より下肢の麻痺が強い), 6) 対麻痺(下肢の麻痺),
8) 片麻痺(右/左)
4. CP疑い: ( )
5. 筋疾患, 6. 末梢神経疾患: ( )
下のイ, ロ, ハ)を満たす
イ) 上下肢の運動機能(10, 16)の異常あり
ロ) ⑩姿勢異常, ⑪筋緊張異常[5]低下, ⑫腱反射低下がみられる
ハ) CPの所見{12}筋緊張異常[6]亢進, ⑬腱反射亢進]がみられない。
7. 筋疾患疑い, 8. 末梢神経疾患疑い: ( )
9. 判定不能/未施行

- 5 -

- 6 -



お名前 男, 女

ID No. 施設名 カルテ番号 施行年月日 平成 年 月 日 氏名 性(男, 女) 生年月日 平成 年 月 日 診察年月齢 歳 カ月 (修正年月齢 歳 カ月) 在胎/出生体重 週 歩行開始 発達歴: 定額 意味のある単語 昼夜のおむつがとれる 主な入院: 1. 2. 3. 診察日: ( 年 月 日, 歳 カ月) 身体計測 身長 cm ( n'-セリカ) 体重 kg ( n'-セリカ) 頭圍 cm ( n'-セリカ) 胸圍 cm ( n'-セリカ) 小児科的診察所見: 頭部 頸部 胸部 腹部 皮膚 その他

- 次の項目についてお答え下さい。 [はい(補助輪あり/なし), いいえ, 不明] 1. 自転車に乗れますか 2. プランコの立ち乗りができますか 3. ジャンブルジムで上の方に登りますか 4. スキップができますか 5. 友達と鬼ごっこをするなど遊べますか 6. こだわりや奇妙な癖がありますか 7. いじめられることがありますか 8. 遊びやお絵かきに集中できますか 9. あちこち触って落ち着きがないと思えますか 10. 顔の話しがよく分かりますか 11. 言葉が遅いと思えますか 12. 発音がおかしいと思えますか 13. 動作がのろいですか 14. 不器用だと思えますか 15. a) 走るのが遅い, b) 歩き方がおかしい, c) ころびやすい, と思えますか [はい, いいえ, はい(a, b, cにO), 不明] 16. 目つきがおかしい, テレビを近くで見るなど, 目が悪いのではないかと 思えますか [はい, いいえ, はい, 不明] 17. テレビの音を大きくするなど, 聞こえが悪いと思えますか [はい, いいえ, はい, 不明] 18. 昼間おしっこをもらしますか [はい, いいえ, はい, 不明] 19. 熱性けいれんがありますか [はい, いいえ, はい, 不明] 20. 熱がなくても, けいれんがありますか [はい, いいえ, はい, 不明] 21. 何か病気がありますか(ありましたか) [はい, いいえ, はい, 不明] 「はい」の場合 (気管支喘息, 湿性性中耳炎, 斜視, FC, Epi) 22. 何か心配なことがありますか [はい, いいえ, はい] 「はい」の場合 (他の子供たちとの関係, 勉強)

II 診察所見 (正常は1) N: Normal, ごく軽度で境界程度の場合は 2) B: Borderline, 異常は3) A: Abnormal, 判断困難・無記入の場合は 4) U: Unknownとする)

- A 行動, 反応 1. 幼稚園(保育園)の名前は? 1) N 2) B 3) A 4) U 代替質問: 父親/母親の名前は? や、不正確=2) Borderline 2. 顔貌 1) N 2) B 3) A 4) U 無欲状, 両眼への無関心, odd-looking face などの有無 3. 視線 1) N 2) B 3) A 4) U 1) Normal: 問いかけなどで目が合う。 2) Borderline: 時々それる。 3) Abnormal: ほとんど合わない。 4. 注意集中良好 1) N 2) B 3) A 4) U 1) Normal=注意の集中困難なし 2) Borderline=軽度傾向あり 3) Abnormal=あり 5. 落ち着き(多動の有無) 1) N 2) B 3) A 4) U 2) Borderline=多動の傾向軽度あり B 一般学術的診察 6. 体格(身長) 1) N 2) B 3) A 4) U 母子手帳で確認。 1) Normal: > 7n'-セリカ 2) Borderline: 3~7n'-セリカ 3) Abnormal: 身長<3n'-セリカ, 増加の鈍化(勾配が正常曲線より小) 7. 頭圍 1) N 2) B 3) A 4) U 母子手帳で確認。 1) Normal: > 7n'-セリカ 2) Borderline: 3~7n'-セリカ 3) Abnormal=<3n'-セリカ 8. 胸腹部, 他 1) N 2) B 3) A 4) U 喘鳴, 聴診上のstridor, rhonchiなど 所見:

- C 神経学的診察 9. 歩行 1) N 2) B 3) A 4) U 歩行の速さ, リズム, 上肢の振れなどをみる 2) Borderline=歩行に支障のない程度のごく軽度の所見 3) Abnormal=明らかな所見あり 10. 四肢の姿勢 1) N 2) B 3) A 4) U 肘関節の異常伸展/屈曲, 前腕内位/回外位, 手指(母指)内転, 反張膝, 外反・扁平足, 尖足, など 2) Border=軽度の姿勢異常が1-2カ所あり 11. 筋緊張 1) N 2) B 3) A 4) U 2), 3) の場合(5) 低下, (6) 亢進(7) 亢進の場合(7) 痙直性, (8) 強剛性) 肘関節, 膝関節, 足関節の屈曲/伸展の際の抵抗感を診る 軟らかい時や外反・扁平足が見られる場合は5) 筋緊張低下, 固い時は6) 亢進とする 屈曲または伸展の一方方向性の抵抗や折りたたみ現象が見られる場合は7) 痙直性, 屈曲と伸展で同じ程度の抵抗がある場合は8) 強剛性とする

- 12. 腱反射 1) N 2) B 3) A 4) U 膝蓋腱反射, アキレス腱反射が明らかな亢進または左右差を示す時は異常とする 亢進・左右差の傾向がある場合は2) Borderlineとする 13. 眼位正常(斜視なし) 1) N 2) B 3) A 4) U ペンライト法にて, 瞳孔の中央に反射光が見られるか否か 14. 眼球運動 1) N 2) B 3) A 4) U ペンライトを視線に水平/垂直に追視させる D 神経学的微細徴候 15. 利き手: 1) 右 2) 左 3) 両手利き 4) 不明 鉛筆(No. 3, 4), 積み木(No. 3, 5, 3, 6), ボール投げで判断する 保護者にも確認(はい, 鉛筆)

- (16, 17, 20より上肢機能障害を評価) 16. 前腕回内・回外運動 1) N 2) B 3) A 4) U 1) Normal=上手, 肘が体幹から離れるのは5cm以下 2) Borderline=下手, 肘は5-15cm離れる 3) Abnormal=下手, 肘は15cm以上離れる 17. 片手で前腕回内・回外運動を行なう際に, 反対側の腕像運動の有無 1) N 2) B 3) A 4) U 1) Normal: 利き手で行って, なし-軽度 2) Borderline: 利き手で行って, 明かな腕像運動が見られる 3) Abnormal: 利き手の前腕回内・回外運動が下手, 利き手の肘は15cm以上離れる (18より, 主として軽度の下肢機能障害を評価) 18. 片足立ち 1) N 2) B 3) A 4) U 右( )秒, 左( )秒 片足で10秒間立たせる。 支持足を動かす/対側の足が足に触れる/床に着く, のは不可。 1) Normal: 両側とも可能 2) Borderline: 片側のみ可能 3) Abnormal: 両側とも不可 19. 閉眼起立テスト: 1) N 2) B 3) A 4) U 両足をそろえて閉眼(15秒間) 1) Normal: 安定 2) Borderline: 不安定 3) Abnormal: 不能

- E 神経心理学的検査 施行時の機嫌/協調性: 1) 良好 2) 境界 3) 不良 4) Unknown □ 20. 模写(構成行為): ①O, ②△, ③丸に四角をつけたもの(O)を模写させる 1) N 2) B 3) A 4) U N: 全部書ける B: 最後ののが完全に書けない A: 全部でないか, 丸しか書けない 21. 数概念: 6個が分かる 1) N 2) B 3) A 4) U 積み木10個のうち6個を換者に渡す 22. 言葉の類推(聴覚認知: 連合) 1) N 2) B 3) A 4) U 問「お父さんは大きいね。赤ちゃんは?」: 答え「小さい」 問「飛行機は遅いね。人が歩くのは?」: 答え「遅い」 問「お湯は熱いね。水は?」: 答え「冷たい」 1) Normal: 3つ正解 2) Borderline: 2つ正解 3) Abnormal: 0-1正解

23. 数列の復唱 1) N 2) B 3) A 4) U  
5, 8; 3, 2, 6; 7, 3, 2, 8; 9, 6, 2, 4, 8;  
各数列は、1度目で復唱できなければ2度まで読む  
1) Normal: 4つ正解, 2) Borderline: 3つ正解, 3) Abnormal: 2つ以下

IV けいれん

問診による。

- 1) なし あり (2) 熱性けいれん 3) てんかん 4) その他  
5) 不明・判定不能

- 2) 熱性けいれんの場合 (38℃以上) (6) 単純型, 7) 複合型  
服薬 8) なし, 9) 間欠投与 (7' A' B' M, 7z/ N' B' 7-8), 10) 持続投与  
次の症候のうち1つ以上あれば複合型とする:  
神経症状あり (脳性麻痺, 精神遅滞, 自閉症), けいれん左右差あり,  
持続15分以上, 1日2回以上
- 3) てんかんの場合  
a) 部分発作  
11) 単純部分発作 (意識清明, 体の一部分の発作),  
12) 複雑部分発作 (意識混濁, 動作が止まる~体の一部分の発作),  
13) 部分発作から始まり2次的に全般化する (強直・間代けいれん) 発作  
b) 全般発作  
14) 強直・間代けいれん, 15) 欠伸発作, 16) ミオクローニ-けいれん,  
17) 非定型欠伸, 18) 点頭てんかん, 19) Lennox(-Gastaut) 症候群  
c) 発作型に関して 20) 不明・判定不能
- 4) その他のけいれん様状態  
21) 泣き入りひきつけ 22) 失神 23) その他 ( )

III 発達検査

可能であれば行う

WISC-R (施行/施行 年 月 日 歳 カ月)  
認知IQ 言語IQ 全IQ

Axis II 精神発達

- 精神発達については、問診票では、5. 鬼ごっこ, 8. 親の話がよくわかる,  
9. 言葉が遅い, などを参考にする。  
診察では、2. 顔貌, 3. 視線, 診察の際の指示の理解, 20. 模写, 21. 数概念,  
22. 言葉の類推, 23. 数の復唱, などから推測する。  
正確には発達検査 (WISC-Rなど) で全IQ85以上を正常とする。
1. 正常 (IQ 85以上)  
2. 精神発達境界 (IQ 70-84)  
3. 精神遅滞 (IQ 70未満)
- 診察項目 2. 顔貌, 3. 視線, 診察の際の指示の理解などから推測する  
正確には発達検査による
4. 精神遅滞疑い: ( )
5. 判定不能/未施行

Axis III 行動・言語・神経心理

1. 正常  
2. 注意集中障害  
問診では11. 動作がのろいを参考にする。診察では4. 注意集中で判断する
3. 注意集中障害疑い: ( )
4. 多動  
問診では7. 落ち着きがない, 診察では項目5 (落ち着きあり=多動なし) である。
5. 多動疑い: ( )
6. 発達性言語障害 (a) 表出性 b) 受容性  
発達性言語障害とは、精神発達が正常範囲にありながら (Axis II で1=正常),  
言語遅滞のある場合で、発語の遅れ (表出性), 言語理解の遅れ (受容性, 多くは  
表出も遅れあり) に分けられる。  
発語については、問診9 (言葉が遅い) を参考にして、診察で発語 (1. 幼稚園名,  
母親の名前, 23. 数列の復唱) で診断する。  
言語理解については、診察時の指示の理解, 21. 数概念, 22. 言葉類推など  
でみる。  
出来ればWISC-Rなどの発達テストを行う。  
その場合の基準は次の通り。  
①全IQ<85, ②言語IQ<認知IQで、差が15以上
7. 発達性言語障害 (a) 表出性 b) 受容性) 疑い: ( )
8. 発達性構音障害  
発音が不明瞭か発音の歪みがある時に構音障害とする。  
問診票では10. 発音がおかしい, を参考にする。  
診察時の22. 言葉の類推, 23. 数の復唱で判断する。
9. 発達性構音障害疑い
10. 自閉症/自閉的傾向  
問診項目6. こたわり, 奇妙な癖を参考にする。診察項目3. 視線に基づ  
他に、こたわり, マイペースさ, 常同運動 (奇妙なくせなど) もみる。

IV 診断:

各Axis毎に診断名を付ける  
診察所見における各項目の異常 (A) に基づいて診断する。  
境界 (B) は診断に際しては正常扱いとする  
問診票における異常項目は参考とする。

Axis I 運動

問診票では 1. 自転車, 2. ブランコの立ち乗り, 3. ジャンブルジム, 4. スキ  
ップ, 12. 不器用, 14. 走るのが遅い, 歩き方がおかしい, 転びやすい, などを  
参考にする。  
診察では上下肢の運動機能 (9, 16-20) で判断する。

診断 (Oを付ける)

1. 正常: 上下肢の運動機能正常, CPの所見がみられない  
2. 境界: 中枢神経系の機能の偏り, 下のイ), ロ), ハ) を満たす  
イ) 運動機能の異常あり a) b) にOを付ける  
a) 上肢 (16-20), b) 下肢 (9)  
ロ) (10) 姿勢異常, 11) 筋緊張異常 [5] 低下] はみられない  
(すなわち筋疾患, 末梢神経疾患の所見がない)  
ハ) CPの所見 (10) 姿勢, 11) 筋緊張異常 [6] 亢進], 12) 腱反射 [6] 亢  
進] がみられない。  
3. CP: 下のイ), ロ) を満たす  
イ) 運動機能の異常あり a) b) にOを付ける  
a) 上肢 (16-20), b) 下肢 (9)  
ロ) CPの所見 (10) 姿勢, 11) 筋緊張異常 [6] 亢進], 12) 腱反射 [6] 亢  
進] がみられる。  
CPでは、①運動機能障害, ②筋緊張の異常 (亢進は必ず必須, 一部の筋で低下) が  
あり, 多くの場合, ③腱反射亢進, ④病的反射陽性を呈する  
CPの型 (下記にO)
- a) 麻痺の性状  
1) 痙直性 (11) 筋緊張-6) 亢進-7) 痙直性, 12) 腱反射亢進]  
2) 弛緩性 (11) 筋緊張-6) 亢進-8) 弛緩性]  
3) アテトーゼ, 4) 失調性, 5) 弛緩性
- b) 麻痺の分布  
6) 四肢麻痺 (上肢/下肢の麻痺の程度がほぼ同じ),  
7) 両麻痺 (上肢より下肢の麻痺が強い), 6) 対麻痺 (下肢の麻痺),  
8) 片麻痺 (右/左)
4. CP疑い: ( )
5. 筋疾患, 6. 末梢神経疾患: ( )  
下のイ), ロ), ハ) を満たす  
イ) 上下肢の運動機能 (9, 16-20) の異常あり  
ロ) 10) 姿勢異常, 11) 筋緊張異常 [5] 低下], 12) 腱反射低下がみられる  
ハ) CPの所見 (11) 筋緊張異常 [6] 亢進], 12) 腱反射亢進] がみられない。
7. 筋疾患疑い, 8. 末梢神経疾患疑い: ( )

9. 判定不能/未施行

詳しくはICD-10, DSM-III-R, IVを参照  
(自閉症と精神発達境界, 精神遅滞, 発達性言語障害など, 自閉症と他の項目の合併も  
ありうる)

11. 自閉症/自閉的傾向疑い: ( )  
12-15に関しては、精神発達が正常範囲にある場合に限る。精神遅滞, 自閉症の  
場合は判定困難である。
12. 視覚/視空間認知障害 項目 20. 模写
13. 視覚/視空間認知障害疑い
14. 聴覚認知/記憶障害 項目 22. (言語の類推)
15. 聴覚認知/記憶障害疑い
16. 不明・判定不能/未施行

Axis IV けいれん性疾患

問診による。

以下Oを付ける

- 1) なし あり (2) 熱性けいれん 3) てんかん 4) その他 ( )  
5) 不明・判定不能
- 2) 熱性けいれんの場合 (6) 単純型, 7) 複合型  
服薬 a) なし, b) 間欠投与 (7' A' B' M, 7z/ N' B' 7-8), c) 持続投与  
次の症候のうち1つ以上あれば複合型とする:  
神経症状あり (脳性麻痺, 精神遅滞, 自閉症), けいれん左右差あり,  
持続15分以上, 1日2回以上
- 3) てんかんの場合  
a) 部分発作  
8) 単純部分発作 (意識清明, 体の一部分の発作),  
9) 複雑部分発作 (意識混濁, 動作が止まる~体の一部分の発作),  
10) 部分発作から始まり2次的に全般化する (強直・間代けいれん) 発作  
b) 全般発作  
11) 強直・間代発作, 12) 欠伸発作, 13) ミオクローニ-けいれん,  
14) 非定型欠伸, 15) 点頭てんかん, 16) Lennox(-Gastaut) 症候群  
c) 発作型に関して 17) 不明・判定不能  
抗けいれん剤 a) 服用 ( ) b) 服用せず
- 4) その他のけいれん様状態  
18) 泣き入りひきつけ  
19) 失神  
20) その他 ( )

Axis VI 合併症

1. なし
2. 水頭症(シャント-/+) 停止性, 活動性
3. 下気道疾患  
気管支喘息 薬物持続投与 -/+ ( )  
気道感染反復, 喘鳴 薬物持続投与 -/+ ( )  
BPD 持続投与 -/+ ( )
4. ほか ( )
5. 不眠・判定不能

Axis VI Education (Parent(mother)への説明)

(チャート上ではdiagnosisは正確につけるが必ずしもそのまま伝えない)

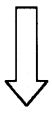
disabilityを強調しない

所見の概略を伝える, 良い面を強調する

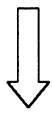
その対応を簡単に説明する

母親に自信を持たせるような説明, 対応が望まれる

以下その内容を簡単に記載しておく



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



我々は現在迄に極小未熟児発達チェックのためのプロトコールを2歳、3歳、就学前(6歳)、就学後について作成した。これはNICNの基本的情報のプロトコールと一般小児科学的診察、神経学的診察、微細神経学的徴候、心理テストなどにより構成されている。診察に30分、心理テスト(WPPSI、WISC-R)に1時間、合計1時間半を要するものである。これに対し、新生児関係者よりこのプロトコールは時間がかかり過ぎるので、心理テストを除いて15分位で出来るものはないのか要望が強くみられた。このために作成したのがここに掲載する簡易版である。各検査項目は従来テストより取ったもので、通過率などすべて標準化されているものである。